

# カリフォルニアが特別な理由

カリフォルニアプルーン農家と流通業者は、環境、社会、経済のサステナビリティを確保するために、既存の枠組みにとらわれないさまざまな取り組みを積極的に行っています。



ヴァカヴィルにあるMariani Familyのナタリー・マリアーニは、廃水を再利用する浄水プラントを活用し果樹園の灌漑を行うことで、800万ガロンの水使用量を削減した。



ユバシティにあるTaylor Brothers Farmsの共同経営者であるジョン・テイラーは、土壌に窒素注入しや、有益バクテリアを使った木を剪定実験を行い土壌を健康に保っている。



ユバシティでMitchell Ranchのオーナーを務めるサンドラ・ミッチェルは、農場で使用する全ての電力を太陽光発電を用いて賄っている。



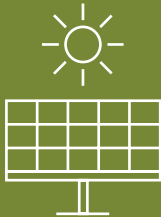
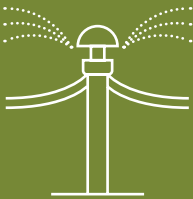
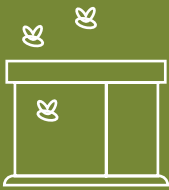
メアリスビルにあるFeather River Farmsのラヴニール・シンは、二酸化炭素の吸収と空気の浄化に役立つ牧草を果樹園で栽培し、エネルギーと燃料の節約に努めています。



ジョー・ターコビッチは、自身がウィンターズに所有する果樹園内にフクロウの巣箱を設置することで、作物を害虫からサステナブルに防いでいる。



## これまでに行われた持続可能な活動例

|                                                                                     |                                                                                                                                   |                                                                                      |                                                                                                                                         |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    | <b>適切な害虫駆除</b><br>カリフォルニアプルーン農家では、生態系を考慮した害虫管理の手法である「Integrated Pest Management」法を採用し、人へのリスクを最小限に抑えながら、植物や動物、環境全体に有益な効果をもたらしています。 |    | <b>再生可能エネルギー</b><br>プルーンの生産において、再生可能エネルギーの活用は最重要課題です。カリフォルニアプルーンを扱うすべての農業従事者は、日々の業務で排出されるCO2を削減するため、太陽光発電設備の導入に力を入れています。                |
|    | <b>カバークロップ</b><br>栄養豊富な土壌を維持し灌漑の効率を高めるために、土壌浸食を防ぎ土壌中に有機物を供給することができる緑肥を栽培しています。                                                    |    | <b>水資源の節約</b><br>高精度なマイクロ灌漑システムによって、農場での水資源の使用量を30～35%削減することに成功しました。                                                                    |
|   | <b>原生生物や自然との共生</b><br>原生生物の生息地と多様性の保全、水辺環境の維持、害虫対策としてのフクロウの巣箱の設置、養蜂場を活用した作物の受粉を行うなど、各地の農場で自然の恵みを受けながら、自然との調和に取り組んでいます。            |   | <b>公正な賃金体系</b><br>私たちは業界全体を通して公正な賃金と労働慣行が提供されるよう取り組んでいます。この産業に携わる人々の健康と安全が最も重要であることを念頭に置き、多くの生産者、製造者、加工業者に医療給付金が支給されています。               |
|  | <b>土壌改善</b><br>果樹園の土壌に有益なバクテリアを配合し、さらに窒素を点滴灌漑システムから投入することで、土壌の健全性を高め、樹木の健康や生産性を維持しています。                                           |  | <b>ライフサイクルアセスメント</b><br>プルーンの生産地における投入量と収穫量をコンピューターモデリングで解析し地球温暖化への影響を定量化し可視化するライフサイクルアセスメント（LCA）を、カルフォルニア大学デービス校とともに実施しました。            |
|  | <b>経済効果</b><br>カリフォルニアプルーン産業を通じて、従業員の賃金と福利厚生に3億9,150万ドル以上が支払われ、事業に必要な様々な商品とサービスが購入されています。その結果、収益の大部分が州に還元される経済サイクルが形成されています。      |  | <b>温室効果ガス排出量</b><br>カリフォルニアプルーン協会は、海外農業サービス及び米国農務省が推進するTACSプログラムと連携し、農産物の生産と出荷プロセスで使用される燻蒸剤による温室効果ガスの排出を抑制・制限することを目的とした2つの取り組みを主導しています。 |

詳細はコチラから：  
[www.prune.jp](http://www.prune.jp)



カリフォルニアプルーン協会



[californiaprunenj](https://www.instagram.com/californiaprunenj)



[@prune\\_fan](https://twitter.com/@prune_fan)



[California Prunes Japan](https://www.linkedin.com/company/california-prunes-japan)



[@JPcaliforniaprunenj](https://www.youtube.com/channel/UCpcaIcaliforniaprunenj)